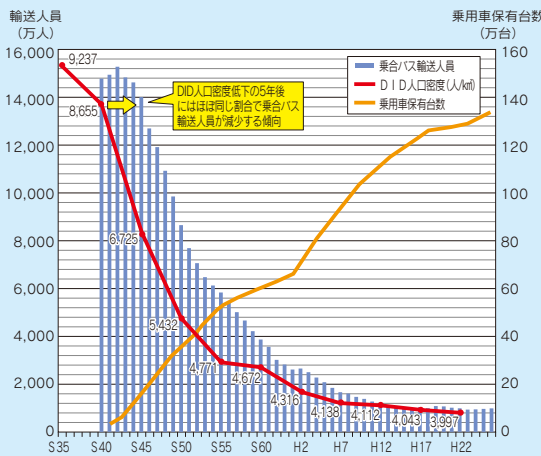


持続可能なスマートムーブの普及・発展を目指して

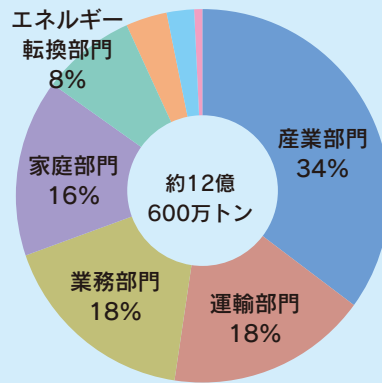
ぐんまフォーラム開催の背景と狙い

群馬県は1人当たり自動車保有台数が全国1位のマイカー王国であり、運輸部門からの二酸化炭素排出割合が全国に比べて9ポイント以上高くなっています。県の調査では85%の県民は年間に一度もバスを利用したことがないという状況です。一方、高齢ドライバーによる交通事故への懸念から免許返納者が増加していますが、返納後の移動手段の確保が課題となっています。日常の移動をマイカーだけでなく、公共交通や自転車など多様な交通手段を賢く利用する“スマートムーブ”が求められています。

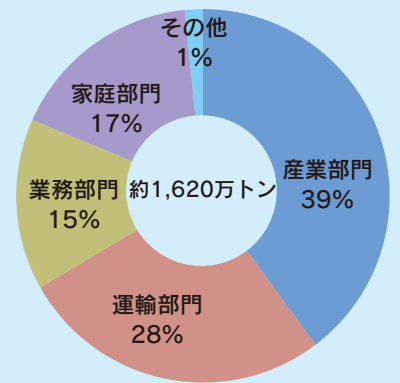
群馬県地球温暖化防止活動推進センターでは、県内の二酸化炭素排出削減を「交通手段」という視点で検討するため、フォーラムを企画しました。



乗合バス輸送人員と DID 人口密度・乗用車保有台数の推移
(出典：群馬県交通まちづくり戦略)



日本の部門別二酸化炭素の排出割合 (2016年度)
(出典：全国地球温暖化防止活動推進センター「すぐ使える図表集」)



群馬のエネルギー起源二酸化炭素の部門別排出割合 (2016年度)
(出典：群馬県ホームページ)

3年間のフォーラムの歩みと成果

2016年から3年間にわたり、毎年12月にフォーラムを開催し、スマートムーブを県内に普及する方策について考えてきました。



「スマートムーブ宣言 2016」

- ①身近なところから、乗って残そう公共交通！
- ②エコドライブで燃費を育て、乗り換えはエコカーに！
- ③自転車に関する知識・ルールやマナーを学ぶ場を！
- ④まず、ラジオ体操で運動習慣。ウォーキング、ランニング、自転車で移動して、コーラスなどで発散して、減塩食を心がけましょう！
- ⑤まち中には車を乗り入れず公共交通を使おう！

「スマートムーブ宣言 2017」

“乗り気”にさせる交通手段をみんなで考えよう！

「スマートムーブ宣言 2018」

バスの利便性を高め、広く周知して利用者を増やそう！

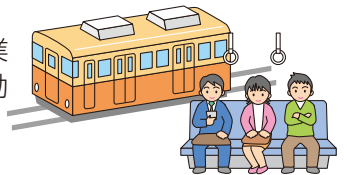


未来のために、いま選ぼう。

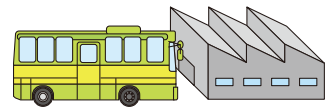


スマートムーブ普及のための3本の矢

- ① 駅周辺事業所従業員に対する電車通勤への転換促進策



- ② 工業団地等における通勤バスの利用拡大策



- ③ 近距離通勤者に対する自転車通勤への転換促進策



公共交通利用を促す行政の施策

① 全路線バス情報のオープンデータ化 (群馬県)

③ 自動運転バスの営業運行実証実験 (前橋市)

⑤ 鉄道利用促進アクションプログラム (群馬県)

② デマンドバスの AI 配車システム (前橋市)

④ 交通系 IC カード車載器導入補助金 (群馬県)

⑥ 東毛広幹道に BRT 導入計画 (群馬県)

COOL CHOICE ぐんまフォーラムから見えてきた 課題と方策 (3本の矢)

1の矢 「公共交通利用通勤の拡大」

現状の問題点

- ①バス路線がわかりにくい
- ②運行本数の少なさと早すぎる終バス
- ③鉄道との接続が悪い
- ④渋滞による遅延が多い
- ⑤交通系ICカードが利用できない
- ⑥割高なバス料金
- ⑦バス停の位置や周辺環境：県庁前には4か所のバス停が分散、駐輪場や屋根・ベンチのないバス停が多い

解決方策

- ①路線の再編・整理とオープンデータ化による乗り換えアプリの活用
- ②増便と終バスの延長
- ③鉄道ダイヤとの連絡改善
- ④バスロケーションシステムの導入
- ⑤ICカード車載器への補助制度
- ⑥料金体系の見直し
- ⑦バス停の集約化と環境整備

2の矢 「通勤バスの導入・利用拡大」

現状の問題点

- ①工業団地は駅や市街地・住宅地から遠く、マイカー通勤がほとんどである
- ②通勤バスを運行している会社もあるが、利用率は必ずしも高くない
- ③通勤時間帯以外のバスが活用されない

解決方策

- ①駅や従業員の多い地域やショッピングセンター等からの通勤バス運行
- ②複数の事業所による共同運行
- ③コミュニティバスとしての活用

3の矢 「近距離自転車通勤の拡大」

現状の問題点

- ①自転車通勤が通勤手当の対象外という事業所がある
- ②自動車通勤で申請している人が、自転車で通勤すると通勤災害の対象外となるという誤解がある
⇒その結果、自転車通勤をためらう人が少なくない

解決方策

- ①自転車通勤者に通勤手当を支給することは税法上も問題ないことを周知
- ②通勤経路が大きく異ならない限り、通勤災害の対象となることを周知
⇒自動車と同条件で通勤手当を支給することにより、近距離の自転車通勤者を増やす

《えこサポは、“スマートムーブ3本の矢”を通して、マイカー偏重の群馬の通勤環境変革を進めます。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。》



群馬県地球温暖化防止活動推進センター えこサポ
(NPO 法人地球温暖化防止ぐんま県民会議)

2019年2月

〒371-0854 群馬県前橋市大渡町 1-10-7 群馬県公社総合ビル 5階
電話 027-289-5944 FAX 027-289-5945 URL <https://www.gccca.jp>